

道端の花 2 題

花・自分の子どももみたいで

「いつもみなさんに、きれいな花をみて
いただきたい。」と道端に季節の花をたやす
ことなく植えていらつしやる、やさしいお
二人をご紹介します。



マリゴールドの咲き誇る1号線と
石川さん夫婦はどのお似合い

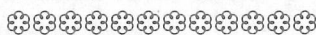
ふと見ると、いつもたえることなく花が咲い
ている1号線ですが、自然に咲いているわけ
はありません。これは、近くに住んでいらつし
やる石川もとさん（58歳）が14年間草を取って
花を育てつづけ現在にいたるものです。

石川さんは14年前体をこわし、退院後芝
桜を植えました。それはこの芝桜と一緒に自分
の病氣も治るようにと願いを込めて育て、また
これをきっかけに1号線を花できれいにしよう
と思ったそうです。今は、黄

色・オレンジ色のマリゴー
ルドの花がたくさん咲き誇っ
ています。でも、「たまにだ
まって花を抜いていかれたり、
ゴミが投げ捨ててあることが
あります。一言何か言ってく
だされば気持ちはいいもので
すが、自分の子供のように育
てきた花を勝手に抜いてい
かれてしまうと、とても悲し
いです。つらいことがあると
よく花にはなしかけています。



花・一緒に植えましょう



長倉に住む
吉川義男さん
（72歳）は、大
総新道の長倉
入口に花を植
えています。
秋はマリゴー
ルド、冬は
葉ボタンと季
節の花が咲き
ならびます。
朝夕水をま
いていると、
トラックの運



いつも花に囲まれている吉川義男さん

転手がクラクションを鳴らし
たり、また、「ご苦労様です
もう少し歳をとったら一緒に花
を植えさせてください。」と声を
かけてくれるそうです。
現在、ほかにもボランティア
ア活動で町内をまわっていら
つしやるそうで、とても忙し
そうです。いつもきれいな花
をありがたうございます。

健康で丈夫である限り続けて
いくことにしています。」と生
き生きとした表情で話してく
ださいました。
ほんの短いあいだ一緒に草
取りをしました。がなかなか取

り終わらない草。これを何年
も続けることは大変なことで
す。石川さんが丹精こめて育
てた花、みなさん大切にしま
してください。そしてぜひ一度、
出かけてみてはいかがでしょうか。